

日高町 議会だより

No.49

平成30年2月22日発行
日高町議会



あかりフェスティバル（日高国際スキー場）

議会12月会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 p

一般質問は7人

「甘草栽培の現状」ほか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 p

株日高アグリ of 清算等に関する調査特別委員会

中間報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16p

議会12月会議は、12月12日から14日の3日間で開催されました。

7人の議員から一般質問の通告があり、地方自治の進展にむけた活発な議論が展開されました。

農業委員会委員の任命についての同意、町長の給料の特例に関する条例や平成29年度一般会計補正予算・特別会計補正予算が十分な審議を経て可決されました。

このほかに「所得税法第56条の廃止を求める意見書」、「診療報酬の引き下げをやめて、地域医療を守る意見書」が可決されました。

議会12月会議

町長行政報告

門別国民健康保険病院医師の招へい

門別国民健康保険病院医師の確保のため、招へい活動を行っていましたが、この度決定をみました。

お迎えする医師は、林修也氏です。

林医師は、平成2年に札幌医科大学医学部を卒業され、札幌医科大学第4内科に入局、旭川赤十字病院などで勤務された後、平成16年4月から滝上町国民健康保険病院、平成25年10月からは天塩町立国民健康保険病院の病院長として勤務をされています。

専門科目は内科、消化器科で、平成30年1月1日より門別国民健康保険病院に勤務します。

林医師は産業医のほか多くの資格を取得され、総合的な医療を推進していますので、地域医療にも大いに貢献していただけるものと期待をしています。

なお、林医師の採用に伴い、門別国民健康保険病院

の糟谷清医師を平成30年1月1日付けで富川国民健康保険診療所長として人事異動を行います。

日高町産馬GIレース優勝

10月9日に行われた地方競馬の統一JPNイレース第30回南部杯で(有)ヤナガワ牧場生産のコパノリツキ一が昨年に続き優勝しました。同馬はGIレース10勝目です

10月22日に京都競馬場で行われた中央競馬GIイレース第78回菊花賞で(有)下河辺牧場生産のキセキ号が優勝し、GIレース初勝利を挙げました。

10月29日に東京競馬場で行われた中央競馬GIイレース第156回天皇賞(秋)で(有)ヤナガワ牧場生産のキタサンブラック号が優勝しました。

キタサンブラック号は、天皇賞(春)と天皇賞(秋)を制し、GIレース6勝目となりますが、年末に行われる有馬記念での引退を表明しており、有終の美を飾ることが期待されます。

11月12日に京都競馬場で行われた中央競馬GIイレース第42回エリザベス女王杯で目黒牧場生産のモズカッちゃん号が優勝し、GIレース初勝利を挙げました。

日高町の生産馬が中央競馬GIレースで3連勝を飾る快挙となりました。

生産牧場はじめ、関係者のご努力に敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

ホッカイドウ競馬

4月18日に開幕したホッカイドウ競馬は、11月9日をもちまして、15開催80日間の全日程を無事終了しました。

本年度は、濃霧の影響により9競走が中止となりましたが、JRAのインターネット投票システムで購入できるレース数の増加などにより、平成10年以来19年ぶりに発売額が240億円を突破しました。

また、23年ぶりに1日の平均売上が3億円を突破し、さらに、門別競馬場における1競走の発売金額が、これまでの最高額を更新する

など、発売総額は計画額と前年実績額を大きく上回り、246億4121万4240円、前年対比は121.06%、計画達成率は113.97%となり、7年連続で計画を上回りました。

主催者や競馬関係者のご努力、産地の皆様のご支援助、ご協力の賜と感謝を申し上げます。

また、多くのファンの方々に門別競馬場へご来場いただきましたことにつきましても、厚くお礼を申し上げます。

なお、開催期間の終了後も、門別競馬場をはじめ、道内の場外発売所でJRAや南関東競馬などの馬券を発売し、さらなる収益の確保に努めます。

第一次産業の状況

○水稲
本年の水稲の作況指数はやや良となりました。

○野菜
出荷状況は、全体で前年を12%上回りました。

大雨の影響もなく生育が順調であったことが出荷額

増の主な要因です。

○酪農

生乳の出荷量は、昨年同様です。肉牛（黒毛和牛）は、1頭当たり平均80万円の取引が行われています。

野菜の出荷状況 平成29年11月末現在

種別/項目	出荷額	前年対比
軟白長ネギ	2億5860万円	+6%
ホウレンソウ	1780万円	+19%
アスパラ	5782万円	△2%
ピーマン	1億9823万円	+30%
トマト	4億6060万円	+13%
イチゴ	3237万円	+9%
シイタケ	517万円	△37%

水稲の状況

平成29年12月5日発表数値

作況指数	北海道	103
	日高管内	103
10a 当たり収量		507kg

軽種馬の市場取引状況

平成29年実績

種別/項目	上場頭数	売却頭数	売却率	売却額	前年対比
JRHA (当歳馬)	22頭	16頭	72.7%	4億2400万円	+1億6400万円
JRHA+HBA (1歳馬)	387頭	287頭	74.2%	16億5820万円	+1億4836万円
HBA (2歳馬)	37頭	24頭	64.9%	1億7600万円	+1724万円
合計	446頭	327頭	73.3%	22億5820万円	+3億2960万円

※JRHA：日本競走馬協会 HBA：日高軽種馬農業協同組合

漁業の状況

平成29年11月末現在

種別/項目	水揚量	前年対比	販売額	前年対比
さけ定置網漁	795.3 t	+58.6%	3億3659万円	+29.7%
かれい刺網漁	799.6 t	+57.4%	1億4441万円	+11.1%
ほっけ刺網漁	144.7 t	+193.1%	1364万円	+257.1%
たこ漁	204.4 t	△46.1%	1億1731万円	△32.6%
つばし籠漁	55.2 t	+9.0%	1283万円	△20.2%
昆布漁	11.7 t	+43.8%	1379万円	+65.1%
ホッキ筈曳き漁	13.0 t	△35.9%	822万円	△39.8%
その他	229.9 t	+8.7%	2億3152万円	+12.7%
合計	2253.8 t	+30.4%	8億7832万円	+8.3%

〔参考〕*当町の特徴的な2魚種

種別/項目	水揚量	前年対比	販売額	前年対比
ししゃも漁	41.3 t	+27.7%	8631万円	+48.7%
マツカワ漁	16.3 t	△14.1%	2402万円	△20.0%

生乳の出荷状況

平成29年4月から10月末までの実績

出荷量	12587 t
前年対比	△1.8%

肉牛（黒毛和牛）の販売状況

平成29年4月から11月末までの実績

販売頭数	926頭
前年対比	+17.4%
販売額	7億4504万円
前年対比	+13.6%

◆代替手段（DMV・BRT・乗合バス）運行した場合の比較検証結果（概要報告から抜粋）

①検証条件

運行区間

	鷗川	日高門別	静内	様似
DMV	線路	一般道	線路	
BRT	バス専用道	一般道	バス専用道	
乗合バス		一般道		

運行本数

鷗川～静内間16本 静内～様似間14本
（日高線代行バスと同じ）

②検証条件で比較

		DMV	BRT	乗合バス
初期費用 （※1）		47億1千万円 （※2）	105億7千万円 （※3）	2億6千万円
単年度収支	支出	10億3千万円	6億円	2億6千万円
	収入	8000万円（※4）		
	収支差	△9億5千万円	△5億2千万円	△1億8千万円
運行開始するまでの期間		約14年間～ （※5）	約6年間～	約2年間～

※1 いずれの交通モードを選択した場合でも海岸復旧費用は別途必要

※2 DMV車両開発費は15億円と仮定し積算。
開発内容により費用は大きく変動する可能性がある。

※3 大規模被災区間（一般道走行区間 日高門別～静内）を除き、全ての線路区間の線路を撤去し、道路（バス専用道）舗装を行う予定。

※4 収入は日高線の鉄道運行時（平成26年度）と同じと算定。

※5 法令の手続き等は、関係行政機関との調整が必要であるため、期間が変更することもある。

JR日高線の状況
11月14日に第4回JR日高線（鷗川～様似間）沿線地域の公共交通に関する調査・検討協議会が開催され、調査を依頼していた委託事業者から、JR日高線沿線地域の公共交通に関する調査・検討結果の報告がありました。

調査内容は、JR日高線沿線地域である日高管内及び東胆振地区の公共交通にDMV（デュアル・モード・ビークル）、BRT（バス・ラピッド・トランジット）

ラピッド・トランジット）の導入のほか、バス運行した場合の運行システムも含め、地域の公共交通ネットワーク全体のあり方について調査・検討を行いました。本調査結果は、JR日高線（鷗川～様似間）沿線地域の交通モードを決定したものではなく、あくまで今後の検討資料です。

今後の予定は町長会議などで議論を経ながら、JR北海道が表明した単独では

維持困難路線である道内他線区の動向も考慮し、最終的な結論が出されるものと考えています。

（参考）

鉄道運行を再開するための費用

災害復旧	86億円
離岸堤整備を含め	100億円以上

教育長行政報告

アスリートバスウェイ中央合宿へ参加

門別小学校4年生の吉本はなさんが、北海道と東北6県から各2名が参加するアスリートバスウェイ北海道・東北拠点合宿のリーグ戦で1位となり、12月1日から3日にかけて、東京の味の素ナショナルトレーニングセンターで開催される中央合宿への参加選手として選ばれました。

日本卓球協会が実施するアスリートバスウェイは、小学4年生以下を対象に世界基準での指導により日本の強化システムの底辺拡大

DMV（デュアル・モード・ビークル）とは、鉄道と陸路が走行可能な車両

BRT（バス・ラピッド・トランジット）とは、一般車両用の道路とくぎったバス専用道路を設けてバスを運行する交通システム

を図り、最終的にはオリンピックや世界でメダルを獲得する選手を数多く輩出することを目的とするものです。

中央合宿で上位2名に入れば、欧州（チェコ）で開催されるジュニアサーキットに参加できます。

最後はフルセットの大接戦となりましたが、惜しくも第3位となり日本代表には届きませんでした。

全国の強豪選手と闘った経験は、今後の競技に生かされていくものと確信しています。吉本さんの今後の活躍を期待しています。

町営水泳プールでの事故

7月18日に日高町営水泳プールでの事故で負傷した日高高校生は、手術を行った北海道せき損センターで主治医をはじめ医療スタッフに支えられながら懸命にリハビリを続けています。

当初は、スマートフォンなどの操作もできない状況でしたが、現在では同級生とラインなどでの情報交換や車いすを自分で操作して移動ができるようになりま

した。

主治医や保護者からは、生徒が厳しいリハビリを続けられているのは、復学に向けた強い意欲が支えとなっているとお話を伺っています。

生徒の復学に向けて、日高高校や関係部署と連携し、医師や保護者と相談しながら生活面や通学など検討を進めたいと考えています。

人事

同意

▼農業委員会委員の任命

次の14人に同意しました。

- 福本 秀雄 氏(千栄)
- 和田 修一 氏(新町)
- 姉川 規晃 氏(豊田)
- 伊藤 幸寛 氏(富川西)
- 高橋 司 氏(富浜)
- 本間 充 氏(幾千世)
- 中山 記朗 氏(豊郷)
- 海馬澤 功 氏(賀張)
- 田丸 利幸 氏(美原)
- 吉田 雅利 氏(幾千世)
- 鈴木 善之 氏(広富)
- 庄野 宏志 氏(美原)
- 上居 勉 氏(清島)
- 高橋 良尚 氏(平賀)

議案

原案可決

▼町長等の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

▼職員の給与に関する条例の一部改正

右記の2件は、人事院勧告に準じ、町長等特別職、職員の期末手当と職員の給料を改正

▼工事請負契約の一部変更
防災行政無線デジタル化(更新)工事

- 工期 変更前 平成29年6月16日から 変更後 平成29年6月16日から
- 更新工事 平成30年3月12日まで
- 契約金額 変更前 平成30年3月30日まで 変更後 3億1428万円
- 変更後 3億1904万2800円

◆平成29年度補正予算 原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計 (第10号)	42万円増	125億3978万円
国民健康保険事業特別会計 (第3号)	70万円増	20億2241万円
日高国民健康保険診療所事業特別会計 (第2号)	122万円増	6億9817万円
富川国民健康保険診療所事業特別会計 (第1号)	1085万円減	1億1005万円
簡易水道事業特別会計 (第4号)	196万円増	1億5206万円
病院事業会計 (第1号) 収益的収支	912万円増	15億3489万円

●主な内容 (一般会計)

社会保障・税番号制度対応システム改修業務委託 205万円

- ▼全身用X線CT診断装置の取得(日高国保診療所)
- 取得内容 CT装置一式 (株)常光 苫小牧営業所
- ▼和解について 日高総合体育館の移動式バスケットボールと床面の

損傷に関して北海道教育庁石狩教育局長と和解

▼町長の給料に関する条例の制定 甘草栽培事業で町政を混乱させたことの責任を取り、1月分から3月分までの給料を30%減額

陳情 採択 ▼「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択についての要望書 陳情者 北海道商工団体連合会 札幌東部民商婦人部協議会

意見書

議会12月会議で可決した意見書は関係機関に送付しました。(内容は要約しています。)

■所得税法第56条の廃止を求める意見書

原案可決 (提出者 総務常任委員長)

国に、自家労賃が必要経費として認められるよう、抜本的な税制改正の議論の中で見直しを図ることを求める。

■診療報酬の引き下げをやめて、地域医療を守ることを求める意見書

原案可決 (提出者 本宮幹夫議員)

国に、地域医療を守り、国民医療の充実を図るために診療報酬の引き下げは行わず、適正な水準を確保することなどを求める。

■消費税10%への増税中止を求める意見書

原案否決 (提出者 真壁悦夫議員)

■日欧EPA「大枠合意」の全容の情報を明らかにし、先行的な「暫定発効」をしないことを求める意見書

原案否決 (提出者 菊地日出夫議員)



本宮 幹夫議員

『甘草栽培の現状は』

【株日高アグリ】の清算の進行状況は】

問 株日高アグリは清算の進行状況はどうなっていますか。

答 11月末の清算をめざし、弁護士と相談してきましたが、甘草事業の購入希望者が複数あらわれ、12月10日頃までに検討することになりました。

問 その結果を待ち、清算の手続きを進めます。苦小牧信用金庫との損失補償交渉はどうなっていますか。

答 遅延の部分については、まけてくださいと切なるお願いをしている状況ですが、結論は出ていません。町としての甘草栽培事業計画はどうなっていますか。

ますか。

答 甘草の優良苗をもとに増殖、育成、生産方法を改良し、組織培養技術についても試験研究を行います。

問 6月に清算が指示され、いまだに実施されていません。

答 甘草事業の購入希望者がいる場合でも清算してから事業の譲渡はできません。その選択の方が、スムーズに進むのではないのですか。

答 スムーズに進むとは思いません。購入希望者が破産した会社から購入したくないという希望があるためです。

問 株日高アグリは清算を平成30年3月中に実施

できますか。

答 弁護士と相談して3月をめざします。

問 購入希望者は価格を示していますか。

答 価格については、今は言えません。

問 購入希望者の価格は、町民負担金額と関連しています。なぜ、公表できないのですか。

答 まだ、本契約をしていませんので、購入価格については、もう少し時間をいただきたいです。

問 株日高アグリは清算を3月中に実施できない場合、副町長を辞職して株日高アグリは業務に専念する考えはありますか。

答 株日高アグリは清算の見通しがついた時点で、副町長を辞職することは、前から考えていました。その職にしがみつくといい考えはありません。

問 株日高アグリは清算の見通しがついた時点で、副町長を辞職することは、前から考えていました。その職にしがみつくといい考えはありません。

副町長を辞職することは、前から考えていました。

問 株日高アグリは清算の取り組みとして、「甘草事業を引き継いでいただく熱意のある企業や個人を求め、町内の有志に事業の説明を行っています」ということですが、反応はどうでしたか。

答 「甘草事業を今やめるのはもったいない」、

「自分では事業をやらないが他の人がやる場合は、出資してもよい」というのが何社かありました。

問 町内の有志の選択基準は何ですか。

答 関心のある方が何人かいましたので、その方

のことで、株日高アグリから説明に出向いたのではなく、関心のある方から説明を求められたので、説明に行きました。

のことで、

問 町と工事契約や物品を納入している業者に対し、株日高アグリは説明に行っていないのですか。

答 関心のある方で個別に話を聞きたいという方はいました。

〈答弁者 本庁担当副町長・農務課長〉



工藤 守弘 議員

『日高町の医療体制は』 『国保医療費の現状は』

【日高町の医療体制】

問 日高国保診療所の入院病床再開に向けて、医療スタッフの確保状況は、どうなっていますか。

答 現在の体制は、医師1人、看護師7人、検査技師1人、放射線技師1人です。なお、看護師7人のうち1人は平成31年3月まで育児休暇中、1人は日高高寿園へ派遣しています。病床再開に向けて、新たな医師、看護師と看護助手等については、いずれも確保に至っていませんが、今後も募集活動を行いながら努力します。

問 富川国保診療所の今後の医療体制はどうなりますか。

答 平成29年10月に町の診療所として開設し、内科、外科、小児科の標榜科目で、医師2人、看護師6人、放射線技師1人、薬剤師1人の医療スタッフによりスタートしました。今後の医療体制は、平成

30年1月から新内科医を新所長として迎え、現状の医療スタッフによる診療を考えています。

薬局は、平成30年6月頃から院外薬局の処方へ変更する予定です。

問 地域医療の中心を担う門別国保病院の役割はどうなっていますか。

答 地域医療構想を踏まえ、地域の住民一人一人が将来にわたって必要な医療を安心して受けられるよう、バランスのとれた医療提供体制を構築し、誰もが住み続けたいと思える地域づくりを進めることです。

具体的には、「救急医療体制の堅持」、「入院医療の現存病床維持」、「人工透析、在宅医療の提供」、「保健衛生、予防医療の推進」を基本として、住民から信頼される病院を目指します。

問 訪問診療件数と看取り件数は何件ですか。

答 訪問件数は11月末現在で在宅の方が40人、施

設の方が31人です。看取り件数は、平成28年度の実績で自宅7件、施設2件です。

〈答弁者 健康増進課長・門別国保病院事務長〉

【国保医療費の現状】

問 過去5年、当町の国保加入者の1人当たりの医療費はいくらですか。別表のとおりです。

北海道国民健康保険団体連合会公表
道内順位表
(高い順から)

年度	療養諸費 (※1)	道内順位表 (高い順から)	全道平均
平成24年度	30万4615円	125位	35万3697円
平成25年度	33万3138円	105位	36万4012円
平成26年度	29万4672円	142位	36万9929円
平成27年度	31万2462円	140位	38万3551円
平成28年度	32万1018円	127位	38万5758円

※1 全道の各157保険者（町村等）の年間医療費の総額を年間平均被保険者数で除した数値

問 町内、町外医療機関の受診割合はどうなっていますか。

答 平成28年3月から平成29年2月診療分医療費を集計した結果ですが、入院分は、町内医療機関7・36%、町外医療機関92・64%、医科外来分は、町内医療機関37・32%、町外医療機関62・68%です。

問 医療費適正化の取組状況はどうなっていますか。

答 保険者としてレセプト点検、医療費通知、ジェネリック医薬品の勧奨案内と特定健診を行っています。

問 特定健診の受診率が、低い要因は何ですか。

答 受診対象者の関心の低さと身近に健診が受けられる医療機関がないことと思われると思います。

〈答弁者 保険年金課長・健康増進課長〉



互野 利夫議員

『日高クリーンセンターの継続を』 『税や公共料金の見直しを』 『医療スタッフの確保は』

【日高クリーンセンターの経過等】

問 廃止提案に至る経過を伺います。

答 平成20年にダイオキシン関係から旧日高町ゴミ焼却炉を廃止した後、日高地区は平取町外2町衛生施設組合に加入しました。

平成22年に衛生組合は、最終処分埋立地を使用年限後の平成30年3月に廃止することを検討していました。10月に廃止の説明をするのは、唐突ではありませんか。

答 廃止は、衛生組合の意向です。説明の時期は急であつたと思います。

問 今後、廃止しない場合維持費はどのくらいですか。

答 平成30年度で年間1250万円位です。交付税分をあてたとしても一千万円を超えます。

問 地域における特色のある施設は必要です。廃止ありきで進めるのですか。

答 住民説明会を開催し、意見を尊重して、内容によっては、衛生組合に報告し、再度検討することも考えていきたいです。

《答弁者 日高総合支所担当副町長・地域経済課長》

【国民健康保険税の軽減】

問 低所得者に資産割課税分の軽減措置を導入することはできませんか。

答 現在、国の制度上資産割の軽減措置は、大変

難しいです。しかし、将来に向け、資産割自体を廃止する検討は進むと思います。

【介護保険料の公平化】

問 現在の9段階の保険料を10段階以上の傾斜保険料に変更できませんか。

答 全国的な見地から9段階設定が望ましいとされており、当町もその方針に沿った選択をしました。

【上下水道料の軽減】

問 上下水道料の29年8月分一般家庭給水件数と使用量が5³m³〜8³m³と4³m³以下の件数は何件ですか。

答 門別地区の総件数は4119件、5³m³〜8³m³は923件、4³m³以下は758件です。日高地区の総件数は794件、5³m³〜8³m³は200件、4³m³以下は

150件です。

問 水道料金の基本水量は4³m³以下の世帯に対し、軽減はできませんか。

答 施設が老朽化しており現段階での軽減はできないと思っております。今後は、料金の見直し時に検討していかねばならないと考えています。

《答弁者 保険年金課長・水・くらしサービスセンター所長》

【医療スタッフの確保】

問 富川・日高国保診療所の医療スタッフの確保状況について質問します。

答 富川国保診療所は、平成30年1月から新所長

が着任予定です。

日高国保診療所の医師・看護師・看護助手は、いずれも確保に至っていません。

問 富川国保診療所の1月からの医師の体制と日高国保診療所の入院病床再開に向けての体制はどうなりますか。

答 富川国保診療所の医師体制は1月から午前中は3人、午後からは2人となります。

日高国保診療所の入院病床再開に向けての医療スタッフ確保は大変困難ですが、努力していきます。

《答弁者 富川国保診療所事務長・日高国保診療所事務長》



菊地日出夫議員

『保育料の無料化を』

【保育料の無料化】

問 平成29年10月の衆議院議員選挙後、政府は保育料など教育費の無料化を計画しています。

3歳児から5歳児までを無料に、0歳児から2歳児までの低所得者だけを無料にするという計画ですが、どのような形になるのか説明を受けていますか。国の決定を待つのではなく、町は全ての保育児の無料化を実施すべきではないですか。

答 国や道からの説明、通知等はありません。国の決定を待たずに、無料化すべきということですが、国の財政的な支援のない中で、全ての保育児の保育料を無料化にすることは、財政負担の面からも困難です。

問 現在、保育所に通所している0歳児から2歳児は何人ですか。

また、非課税世帯で保育所に通所している保育児は

何人ですか。

答 日高保育所は1歳児2人、2歳児2人、ずらん保育所は1歳児3人、2歳児4人、わかば保育所は1歳児8人、2歳児12人、二葉保育所は0歳児5人、1歳児17人、2歳児20人です。

非課税世帯の保育児の人数は14人です。非課税世帯の保育児については、現在、保育料はかかっていません。

問 保育料の滞納の状況はどのようなになっていますか。

答 滞納額は一時保育の方で31万2千円、平成28年度で10万3千2百円、平成29年度で10万4千円です。

現在、50万円ほど滞納額が残っています。

以前、保育料の滞納者は、ひとり親、低所得の方が多かったと記憶していますが、現在、多子軽減やひとり親に対する軽減措置があり、

その効果により減ってきています。

問 保育料を児童手当から引いていますか。

答 保護者の合意を経て、強制的に引くことのないように行っています。

問 格差がどんどん広がり、貧困世帯が増えてきています。

子供・子育て支援をする上で、保育料を無料にするべきではないですか。

答 今年度、町が負担する額は、保育所、幼稚園含めると約3千万円になると思います。

全ての保育料を無料にする、1億円は必要だと思います。

問 全額でなくても、半額補助するということも含め検討すべきではないですか。

答 国から何も示されていない中では、動かせません。

問 ふるさと納税で保育料を無料にすることも考

えるべきではないですか。何とか財源をつくることを考えられませんか。

答 少子化対策では、保育料についても他の町に負けないような支援をしています。

無料化になっていくことは大変望ましいと思います。単独での前倒しについては、もう少し時間をいただき、国の形が見えるまでよく検討させていただきたいと思っています。

〈答弁者 本庁担当副町長・子育て福祉課長〉





佐藤はなえ 議員

『高齢ドライバーが運転免許証を自主返納できる環境を』 『インフルエンザ予防接種の実施状況は』 『ヘルプマーク・ヘルプカードの活用を』

【高齢者ドライバーの運転免許証返納】

問 高齢者の自動車事故の減少を目的として、75歳以上の運転者に対し、認知機能検査が義務付けられたことから、運転免許証を自主返納する人が増えている記事を拝見しました。

答 地域に住む人にとって車は「生活の足」として欠かせません。移動の支援が必要と考えますが、

問 高齢者バス乗車証交付制度があります。

答 70歳以上の方は、町が運行するデマンドバスや道南バスの運行路線で町内区間に限り、1カ月8000円の乗車証を購入すれば、何回でも乗車が可能ですので、活用していただきたいと考

えています。

問 70歳以上の免許証保有者数、事故件数、免許証自主返納者数は、どのくらいですか。

答 平成28年で免許証保有者は1381人です。事故件数は、人身事故0件、物損事故55件です。

問 免許証自主返納者数は、平成28年で7人、平成29年11月末現在で21人です。

答 高齢者ドライバーが、免許証を自主返納するために認知症などを相談できる環境づくりを考えていますか。

問 関係する部署と協議等を進めたいと考えています。

《答弁者 住民課長》

【インフルエンザ予防接種の実施状況】

問 昨年度の助成件数と助成額は、どのくらいですか。

答 助成した件数は3517件です。内訳は、乳幼児622件、小学生542件、中学生107件、高齢者2132件、非課税世帯と生活保護世帯の方は14件です。

問 助成額は882万4436円です。

答 病院は一生懸命対応していましたが、予防接種を受けるために長時間、通路などで待っている高齢者や子どもがいました。

問 予約制にして何回か分けるなど、改善法を考えていますか。

勤医協厚賀診療所では、予約制を実施したり、

問 富川国保診療所では整理券を配る方法を実施していません。

答 今年度を参考に、来年度は医療機関と協議したいと考えています。

《答弁者 健康増進課長》

【ヘルプマーク・ヘルプカードの活用】

問 ヘルプマークは、義足や人工関節を使用して

答 いる方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマークです。

ヘルプカードは、緊急連絡先や必要な支援内容などが記載でき、障がいのある方などが緊急時、災害時などに周囲の援助や配慮をお願いしやすくなるカードです。町は活用するための取り組みをしていますか。

答 子育て福祉課、地域住居センター、厚賀出張所の各窓口で、希望された方に無料で渡しています。

問 ヘルプマークは、北海道でも今年度から導入されました。広く普及することに、大きな効果を生むものと認識しています。

答 より、大きな効果を生むものと認識しています。普及方法と併せて、活用についても検討します。

《答弁者 子育て福祉課長》



高橋 克徳議員

『町有地の売買と土地開発公社』 『人工透析患者の施設利用は』

【町有地の売買】

問 過去5年間に購入した土地の内訳は、どのようになっていますか。

答 主なものは、防災施設用地、町道用地、消防庁舎改築事業用地、町営住宅・職員住宅建築用地や生活館用地、道路改修復旧における用地などです。

問 購入価格はどのように決定していますか。

答 国が定める公示価格、道が定める基準価格、町における路線価と場合によっては売買事例も採用し、それらの価格の平均値を参考価格としています。

問 過去5年間に売払いをした土地の内訳は、どのようなになっていますか。

答 富川南ニュータウンが主なものですが、賀張小学校跡地施設再利用事業富川東、門別本町や緑町の宅地なども売払いしています。

問 財産の売り払いは、一般競争入札が原則です

が、規則どおり実施しましたか。

答 賀張小学校跡地、富川東などは公売です。

門別本町は長期間貸し付けしていましたが、買い取りを希望したため随意契約しました。緑町は町道厚賀6号線道路改良工事に伴う支障住宅の移転先を協議した結果から契約が成立したものです。

【今後の土地開発公社】

問 土地開発公社の事業予定は何かありますか。

都市部では公社が解散していますが、当町ではどのように考えていますか。

答 現在、検討しています富川市街地活性化事業の用地取得が考えられますが、うまく話が進んでいかないこともあり、合併特例債の再々延長を国に要望しています。

いろいろな事業を継続的に考えていくためにも土地開発公社はあった方が良く考えています。

〔答弁者 町長・管財建築課長・総務課長・企画財政課長〕

【人工透析患者の施設利用】

問 要介護認定を受けている方で人工透析をしている方の人数は何人ですか。

答 要介護は11人、要支援は4人です。

問 人工透析をしている方が、特別養護老人ホーム門別得陽園の入所やショートステイの利用は可能ですか。

答 基本的には可能ですが、申し込み・受け入れ時の施設の状態・環境により断っていることもあるとのことでした。

問 人工透析をしている方が、老人保健施設愛生苑の入所やショートステイの利用は可能ですか。

答 どちらも可能です。ただし、門別愛生苑と門別国保病院は併設しており、一部を除き、基本的に

医療費が施設の持ち出しになりますので、高額治療行為を必要とする場合は、医療費面で施設の負担が大きいため、その都度対応している現状です。

人工透析の必要な方は、合併症を持っている方も多く、医療面でのケアが必要とな方が多いので、入院透析というような形で医師、ケアマネと相談して対応しているケースもあります。

問 人工透析については、5課が関わっています。今後とも住み慣れた地域で自分らしい人生を全うできる町政運営を望みます。

〔答弁者 門別国保病院事務長〕

— 11 —



真壁 悦夫議員

『J R日高線の日高門別駅までの運行再開を』 『子どもの貧困対策の推進を』

【J R日高線】

問 スタフ閉塞式（通行手形様の通票を駅と列車間で交換して運行する方式）による「駅に信号設置工事などが不要でお金のかからない日高門別駅までの運行再開方法」が新たに提案されましたが、どう受け止めていますか。

答 鉄道の運行再開に向けて有効な手段の一つであると考えています。

問 J R 北海道が10路線13区間の「単独維持困難」路線を発表して1年がたちました。路線維持は日高路線住民の問題だけではなく、北海道の未来に関わる課題ではありませんか。

答 路線維持は、国の責任で解決するよう日高管内の町長と要望してきまして、日高線だけの問題として協議している状況ではなくなっています。日高門別駅までのJ R運行再開については変えないで要望していきます。

内の町長と要望してきまして、日高線だけの問題として協議している状況ではなくなっています。日高門別駅までのJ R運行再開については変えないで要望していきます。

問 清島地区では、平成28年の災害でポートによる住民の救出という事態になりました。

答 国に対して海岸保全工事を求めるべきだと思いますが、国に對して海岸保全工事を求めるべきだと思います。

問 海岸保全予算は全道で26億円ほどしかありません。国には予算を増やし、国土保全という立場で工事をしようとしていますが、

《答弁者 町長・企画財政課長》

【入学準備金前倒し支給】

問 子どもの貧困対策として就学援助制度による入学準備金の前倒し支給を当町が実施した場合、来年度の支給予定総額はいくらになりますか。

答 今年度の小学校1年生の認定人数と小学校6年生の認定人数で算出すると小学校1年生が9人で36万5400円、中学校1年生が9人で42万6600円で、支給予定総額は79万2千円です。

問 これまで6月、7月に支給していましたが、平成30年度支給分の新入学児童生徒学用品費は、前倒しして平成30年3月に支給できるように準備を進めています。

《答弁者 町長・企画財政課長》

【準要保護の周知徹底】

問 経済的理由により就学困難な子どもたちの保護者に準要保護の周知はどのように行っていますか。

答 在学児童生徒には2月、3月に、新1年生は1日入学の時に学校を通じて書類を配布しています。

問 できるだけ準要保護を受けられるような雰囲気づくりや機会を増やす必要があると思いますが、周知する機会を増やすよう検討します。

答 よう検討します。

【医療費・給食費無料化】

問 中学生までの医療費助成を拡大し、高校生までの医療費無料化を実現すべきだと思いますが、ひとり親家庭に対し、18歳まで助成を実施している町もあります。

答 最近、給食費無料化について交付金を活用する自治体もあることは承知しており、今後検討します。

問 学校給食施設建設費の償還に平成39年まで毎年1億円払うことになり、財政的に難しい状況です。国の地方創生による制度を使って無料化している町もあります。

《答弁者 教育長・保険年金課長・子育て福祉課長・教育委員会管理課長》

10月会議

平成29年10月2日

報告

専決処分の報告

◆平成29年度補正予算

一般会計（第7号）
補正額 1332万円増
歳入歳出総額 125億699万円

●主な内容

衆議院議員選挙費 1332万円

◆平成29年度補正予算 原案否決

一般会計（第8号）
補正額 2025万円増
歳入歳出総額 125億2724万円

●主な内容

(株)日高アグリ清算補助金 1053万円
(株)日高アグリ清算資金貸付金 972万円

10月第2回会議

平成29年10月13日

町長行政報告

門別国民健康保険病院医師の招へい

平成29年6月1日付けで村上医師の人事異動により門別国民健康保険病院医師の確保のため、招へい活動を行っていましたが、この度、決定をみました。

お迎えする医師は、糟谷清氏です。

糟谷医師は、平成2年に新潟大学医学部を卒業され、平成9年に同大学院を修了し、九州大学医学部解剖学教室入局、平成12年に福岡大学解剖学教室入局、平成18年から医療法人芳香会唐津第一病院などで勤務された後、平成27年10月から公益社団法人曾於医師会立病院に勤務されています。専門科目は内科、消化器科で、平成29年10月16日より門別国民健康保険病院に勤務します。

糟谷医師はプライマリ・

ケア認定医のほか多くの資格を取得されており、診療体制の充実が図られることはもちろんのこと、地域医療にも大いに貢献していただけるものと期待をいたします。

同意

同意

町の表彰条例に基づく平成29年度の被表彰者は次の方々です。

▼社会貢献表彰

- 工藤 好功 氏(門別本町)
- 鎌田 正勝 氏(富川南)
- 矢野三千枝 氏(平賀)
- 沖田 方子 氏(富浜)
- 石谷 清光 氏(清島)
- 小屋畑和久 氏(緑町)

▼産業貢献表彰

- 道見 忠信 氏(清島)

▼善行表彰

- 伊藤 克三 氏(門別本町)
- 日高わらべの会

議案

原案可決

▼教育用コンピュータの取得

門別小学校教師用パソコン(タブレット兼用型)6台、児童用パソコン(タブレット兼用型)30台、サーバー1台、ネットワーク、ソフトなど一式



▲門別小学校教育用コンピュータ

◆平成29年度補正予算 原案可決

一般会計（第9号）
補正額 3236万円増
歳入歳出総額 125億3936万円

●主な内容

土木施設災害復旧費 3150万円

11月会議

平成29年11月7日～9日

報告

▼専決処分の報告（工事請負契約の変更）

町道3号の沢線道路災害

復旧工事

契約金額

○変更前

1億5876万円

○変更後

1億6038万円

▼平成28年度下水道事業特別会計継続費の精算報告

議案

原案可決

▼工事請負契約

準用河川厚別川河川災害

復旧工事（5号箇所）7工区

○工期

平成29年11月9日から

平成30年3月30日まで

○契約金額

1億778万4千円

○契約の相手方

磯田建設・武田特定建設
工事共同企業体

準用河川厚別川河川災害

復旧工事（5号箇所）8工区

○工期

平成29年11月9日から

平成30年3月30日まで

○契約金額

2億8598万4千円

○契約の相手方

磯田組・出口特定建設工
事共同企業体

準用河川厚別川河川災害

復旧工事（5号箇所）9工区

○工期

平成29年11月10日から

平成30年3月30日まで

▼28年度一般会計決算 認定

歳入	110億6235万円
歳出	107億9056万円
差引	2億7179万円
翌年度へ繰り越す財源	2662万円
実質収支額	2億4517万円

▼28年度特別会計決算 認定

区分	歳入	歳出
国民健康保険	19億2725万円	19億291万円
後期高齢者医療	1億5950万円	1億5699万円
国保診療所	2億6454万円	2億5609万円
介護保険	11億5199万円	11億3434万円
簡易水道	1億4885万円	1億4197万円
下水道	7億4058万円	7億3958万円

○契約金額

7138万8千円

○契約の相手方

笹田組・登特定建設工
事共同企業体

準用河川賀張川河川災害

復旧工事（6工区）

○工期

平成29年11月10日から

平成30年3月30日まで

○契約金額

5724万円

○契約の相手方

登建設工業株

決議

議会12月第2回会議で賛成多数で可決しました。
(内容は要約しています。)

12月第2回会議

平成29年12月28日

■第三セクター(株)日高アグリの破産処理をただちに実行することを求める決議

原案可決（提出者 (株)日高アグリ清算等に関する調査特別委員長）

町長は6月会議で、経営不振に陥っている(株)日高アグリの実業について清算の意向を示し、6月19日に(株)日高アグリに対し清算を指示した。

その後、9月末期日の金融機関への償還が不能となり経営破綻するに至り、資産の売却を前提に11月末をめぐり裁判所へ破産の申立てを行なう方針を新たに示したが、履行されず、12月14日の全員協議会では破産処理の方針を突然撤回し、資産の売却先が複数あるとして第三者に譲渡する考えを示した。

12月25日には、資産譲渡に関する説明を受けたが、詳細は示されず、しかも金額も不明で、特別委員会に示された第三者への譲渡案は容認できるものではなかった。

議会は当初より今年度内の清算を求めてきたが、この間の再三に渡る基本方針の変更は、議会との信頼関係を損なうものである。

(株)日高アグリ経営破綻により、1億3000万円を上限とする損失補償を行なわざるを得ない状況である。それは町民負担をとまなう苦渋の判断であるが、これ以上の引き延ばしは、さらなる負担増につながる。

現町政における事業の破産整理は、町長と議員の任期である今年度内に処理を終えるのが最低限のモラルであり、責任である。

よって日高町議会は、(株)日高アグリ破産手続きをただちに実行することを強く求める。

1月会議

平成30年1月18日

教育長行政報告

全日本選抜小学生野球選手権大会への参加

JBC日高ブレイヴに所属する門別小学校6年生の川端遙流さんは、昨年11月に開催された北海道学童軟式野球都市対抗戦での活躍が評価され、2月に兵庫県淡路市で開催される第3回全日本選抜小学生野球選手権淡路島大会に出場する北海道選抜メンバー17人に選出されました。



▲北海道選抜メンバーに選出された川端遙流さん

北海道選抜への選出は、野球に打ち込む多くの優れた選手の中から選ばれたものであり、日頃の厳しい練習を続けてきた努力をたたえますとともに、全国大会での活躍を期待しています。

全国中学校スキー大会への出場

日高中学校2年生の竹内一さんは、1月に小樽市で開催された第50回北海道中学校スキー大会アルペン競技に出場し、男子回転では出場選手110人中9位に入賞し、男子大回転では出場選手162人中12位となり、2月8日から秋田県鹿



▲全国中学校スキー大会に出場する竹内一さん

角市で開催される第55回全国中学校スキー大会アルペン競技への出場を手にしました。日頃の厳しい練習に打ち込んできた努力をたたえますとともに、全国大会での活躍を期待しています。

バドミントン全国大会への出場

日高小学校3年生の溝尾花奈さんは、昨年8月に小樽市で開催された第36回北海道小学生バドミントン大

◆平成29年度補正予算 原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計（第11号）	3909万円増	125億7887万円
簡易水道事業特別会計（第5号）	1億9000万円増	3億4206万円

●主な内容

（一般会計）

産業振興基金積立金増	3000万円
日高小学校大規模改造工事管理業務委託	412万円
日高自動車道 日高厚賀IC開通記念事業	150万円

（簡易水道事業特別会計）

千栄浄水場災害復旧工事外	1億9000万円
--------------	----------

会で3位となり、全国大会へのキップを手にしました。12月24日から広島市で開催された全国大会では、1回戦で4年生の選手と対戦し、善戦および敗戦となりました。

4年生となる平成30年度は、これまでの経験を活かし全国で活躍することを期待しています。

平成30年度日高町産業学習受講生選考試験の結果

選考試験を1月13日に実

施し、当初11人の申込がありました。2人が辞退したため9人が受験しました。体力テストや作文、面接試験を実施した結果、全員が合格となり、その結果を通知しています。

今後、入講意志の確認を行なうとともに、日高高校の入学試験の結果を踏まえながら、二次募集を実施し1人でも多くの生徒確保に取り組みたいと考えています。

株日高アグリの清算等に 関する調査特別委員会中間報告

特別委員会は、議会12月
会議で中間報告しました。

◆調査期間

平成29年7月25日から
平成29年12月14日まで

平成29年8月25日

- ② 清算までのスケジュールに関する調査
- ③ 株主との協議状況に関する調査

◆委員会構成

委員長 菊地 日出夫
副委員長 工藤 守弘
委員 川淵 健一
本宮 幹夫
佐藤 はなえ
寺越 哲夫
高橋 克徳

平成29年9月4日

- ① 会社清算に向けたこれまでの動きについて調査
- ② 会社の事業譲渡・解散・清算手続に関する調査
- ③ 9月末の償還金に関する調査

平成29年9月14日

- ① 甘草事業の町直営による継続に関する調査
- ② 株日高アグリの清算に係る補助金に関する調査

平成29年11月1日

- ① 今後の調査内容に関する協議

平成29年11月6日

- ① 臨時職員に関する調査
- ② 甘草の収穫状況に関する調査

- ② 今後の調査事項・スケジュールについて協議
- 平成29年8月10日
- ① 金融機関との取引約定書に関する調査

- ③ 金融機関からの通知に関する調査
- ④ 破産申立てに関する調査

平成29年12月4日

- ⑤ ダイオウ栽培の計画に関する調査

平成29年12月8日

- ① 清算に至るまでの総括に関する調査
- ② 臨時職員業務等の計画書に関する調査
- ③ 薬用植物栽培等の計画に関する調査

平成29年12月8日

◆株日高アグリの会社概要

(1) 事業内容

- ① 甘草等の生薬（薬用植物）の栽培、品質調査、販売
- ② 甘草等の生薬（薬用植物）の加工、販売
- ③ 甘草等の生薬（薬用植物）に係る前各号の事業

活動に資する研究開発及びその成果の利用

④ 機能性食品及び特定保健用食品の開発

⑤ 前各号に附帯関連する一切の事業

(2) 資本金

6千万円

(3) 本店所在地

日高町門別本町210番地1

(4) 役員構成

代表取締役

日高町副町長

・取締役

会津日石販売(株)

代表取締役

・最高顧問

東京大学名誉教授

(5) 出資割合

日高町

60%

出資金額

3600万円

会津日石販売(株)

25%

出資金額

1500万円

(株)長江

10%

出資金額

600万円

(有)橋興

3%

出資金額

180万円

(株)純緑農業

2%

出資金額

120万円

◆所見

(はじめに)

日高町の甘草栽培事業を担っていた株日高アグリは、生薬業界への知識不足や、確立していない育成技術で実施した大規模栽培の結果、清算せざるを得ない状況となった。

同社の清算に向けた具体的な課題や方法などを調査するため、平成29年7月会議において株日高アグリの清算等に関する調査特別委員会を設置した。

(大規模栽培の実施から会社清算へ)

平成25年7月に産業・建設常任委員会と全員協議会において、多くの漢方薬に使われている甘草は、砂漠化につながる乱獲防止を理由に中国からの入手が困難になり、今後国内における需要が見込まれることから、その甘草を栽培することで、将来、日高町が大量かつ安定的な供給元となるという説明を町から受けた。

議会は、甘草栽培事業を担う株日高アグリの設立、同社借入金損失補償も認

めてきたが、育成技術が確立していないなかで実施された大規模栽培は、定植した苗の多くが枯死するという惨憺たるものだった。

生薬の栽培は契約栽培が主で製薬会社との契約なしに製造・販売はありえない。

生薬として取り扱うには甘草の主成分であるグリチルリチン酸の基準を満たすことが、日本薬局方で定められている。

しかし、株日高アグリは甘草は、この基準を安定的にクリアすることができなかった。

甘草の生育不良の結果、度重なる株日高アグリ経営計画の変更がなされ、さらに平成29年9月以降の借入金償還が難しくなると、償還期間の延長や町の損失補償期間の延長などを議会に提案することを検討したが、議会はこれを認めなかった。

平成29年6月会議において、町長は、株日高アグリを清算する旨の発言をし、同社は清算されることになったが、本来、取締役会

議、株主総会を経て粛々と行うべき清算手続きは遅々として進まなかった。

その後11月末まで破産手続を開始すると説明があったものの、それも先送りとなった。

（まとめ）

株日高アグリを現議員の任期中に整理し、新体制に持ち越さないことが議会の責任であり、そのために、同社が速やかに破産手続の申し立てに着手することを強く要求する。



▶ 甘草栽培圃場

◆ 議会での株日高アグリ甘草栽培事業に関する協議経過

開催期日	会議名	協議内容等
平成25年7月11日	産業・建設常任委員会	【日高町の農業振興策】 甘草栽培事業を実施することについての説明及び協議
平成25年7月16日	全員協議会	同上
平成25年8月1日	産業・建設常任委員会	【甘草栽培に係る法人の設立】 事業内容、発行株式、資本金等についての説明及び協議
平成25年8月5日	産業・建設常任委員会	【医薬基盤研究所の視察】 視察に関する協議
平成25年9月9日	産業・建設常任委員会	【株日高アグリ設立】 ＜日高町甘草栽培事業計画＞※主な項目を記載 ①定植株数 25年度：11万3000株 26年度：15万株～35年度：100万株 ②売上額 ※25年度～27年度は売上なし 28年度：1億170万円 29年度：9000万円 30年度：2億6100万円 31年度：5億2200万円～35年度以降：11億1600万円 ③営業利益 ※100万円未満切捨表示 28年度：△2億6000万円 29年度：△3億4700万円 30年度：△1億8100万円

開催期日	会議名	協議内容等
平成25年9月9日	産業・建設常任委員会	31年度：△7500万円 32年度：1100万円～35年度以降：5億500万円 ④売上単価 1800円/kg 【医薬基盤研究所の視察】 視察に関する協議
平成25年9月17日	全員協議会	【㈱日高アグリ】の設立 日高町甘草栽培事業計画が示される。
平成25年10月9日	産業・建設常任委員会	【行政視察】 独立行政法人医薬基盤研究所 薬用植物資源研究センター北海道研究部（名寄市字大橋）
平成25年12月12日	産業・建設常任委員会	【土地の取得（薬用植物栽培施設用地）】 ①所在 字緑町55番1 ②地積 9万9744㎡ ③取得価格 1994万8800円 【甘草栽培用地の造成】 ①造成地面積 1万4400㎡ ②工事内容 樹木伐採・伐根、整地 ③予算額 500万円 【事業資金借入れに係る損失補償】 ①平成25年度借入予定額 5000万円 ②借入先 苫小牧信用金庫門別支店 ③借入期間 10年間 ④貸付利率 2.2% ⑤損失補償額 5000万円 ⑥債務負担行為期間 10年間 【計画の修正】 販売単価をkg当たり1800円から1600円に修正し、それに伴い売上計画も減額修正
平成25年12月20日	平成25年12月会議	㈱日高アグリの実業資金借入に対する損失補償で、期間10年、限度額5000万円の債務負担行為の追加を内容とする補正予算が可決される。
平成26年6月4日	産業・建設常任委員会	【㈱日高アグリ】の経営状況に関する報告 平成26年6月会議に提出する平成25年度経営状況報告の説明 【甘草栽培事業計画】 定植株数をマイナス修正し、それに伴い製造原価、売上、営業利益等も減額修正
平成26年6月10日	産業・建設常任委員会	【甘草栽培事業計画】 債務負担行為（限度額8000万円）を追加する補正予算提案について6月会議では見送ることの説明を受ける。
	全員協議会	同上

開催期日	会議名	協議内容等
平成26年6月13日	全員協議会	<p>【甘草栽培事業計画】</p> <p>＜事業計画の修正理由＞</p> <p>①平成26年度事業で補助制度を活用できなかった。</p> <p>②販売先が確保されていない。</p> <p>③金融機関は町の損失補償なしでは融資しないことが、明らかになる。</p>
平成26年6月27日	全員協議会	<p>【甘草栽培事業計画】</p> <p>＜事業計画変更による収支見直し＞</p> <p>①町は、平成27、28年度については、会社に対し損失補償は行わない。</p> <p>②平成27、28年度に作付けを行わない。</p> <p>③平成29年度以降の作付けは販売状況を見て判断する。</p> <p>④平成27、28年度は、次の実証実験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追肥、除草等肥培管理方法改善 ・グリチルリチン酸が高含有率となる栽培方法の試験 ・ストロンによる苗の増殖方法の確立 ・開花結実後の種子の採取及び発芽試験 <p>＜損失補償に関する議案の提出＞</p> <p>平成26年度事業借入金8000万円に係る損失補償に関する議案の提出について説明</p>
平成26年7月1日	平成26年7月会議	<p>㈱日高アグリ of 事業資金借入に対する損失補償で、期間10年、限度額8000万円の債務負担行為の追加を内容とする補正予算が可決される。</p>
平成26年9月5日	産業・建設常任委員会	<p>【所管事務調査】</p> <p>現地調査 甘草栽培圃場</p>
平成26年9月19日	平成26年9月会議	<p>産業・建設常任委員会 所管事務調査報告</p>
平成27年6月4日	全員協議会	<p>【薬草栽培の状況】</p> <p>＜㈱日高アグリ of 近況＞</p> <p>①当分の間、新たな作付けは行わず、現在の株が良好に生育するよう適正な圃場管理に努める。</p> <p>②グリチルリチン酸含量の検査を行う。</p> <p>③健康食品製造・販売業の㈱スリービーと共同で商品開発を進める。</p> <p>④新たに結成される「日高町薬草生産協議会」（仮称）が国・道の支援を受け、薬草の栽培、一次加工の事業に協力し、日高町の薬草の産地化に努める。</p>
平成27年6月18日	産業・建設常任委員会	<p>【所管事務調査】</p> <p>現地調査 甘草栽培圃場</p>
平成27年9月8日	産業・建設常任委員会	<p>【所管事務調査】</p> <p>現地調査 甘草栽培圃場</p>

開催期日	会議名	協議内容等
平成27年9月18日	平成27年9月会議	産業・建設常任委員会 所管事務調査報告
平成27年10月5日	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 苗の仕入れ先である純緑農業の責任者を参考人として委員会出席要請することを決定
平成27年11月20日	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 参考人の委員会出席要請について、欠席する旨の回答。相手方に日時を指定してもらい再度要請することに決定。 ⇒ 要請したものの、出欠に関する回答を得られなかった。
平成27年12月7日	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 ＜甘草栽培事業計画＞ ①(株)日高アグリの商品製造 甘草を原料とする健康茶の製造 ②事業収支計画の修正 ・収穫予定数量のマイナス修正 ・製品販売単価の増額修正(1万円/kg ⇒ 6万円/kg) ・収穫予定重量のマイナス修正 ・会津日石販売(株)から甘草420kg(乾燥重量)を購入予定(1万5千円/kg)
	全員協議会	【甘草栽培事業計画】 ※産業・建設常任委員会で資料等を請求し、全員協議会で再度説明 ＜(株)日高アグリが製造する製品＞ ①製品名 (仮称) 甘草茶 ②内容 ティーバッグ30包 ③卸売価格 1包(1g) 60円 ④販売先 (株)ソワンドポーテ(サビーナ自然化粧品販売会社)。同社が全量買い取りし、同社の販売ルートで販売 ⑤原料調達先 会津日石販売(株)から乾燥重量420kg(株数7000株相当)を購入 ⑥原料購入費 会津日石販売(株)から乾燥重量1kg当たり1万5000円程度で購入 ⑦原料加工 (株)日高アグリは掘取、洗浄、乾燥、切断、粉碎までを行い、委託会社が焙煎、粉碎、TB加工、袋詰めまでを行う。 ＜事業収支計画修正の主な理由＞ ①収穫予定数量 定植数11万3000株から、実際の生育数に補植予定数等を加えた4万5000株に修正 ②収穫予定数量 平成25年度に定植したものは平成29年度から、平成26年度に定植したものは平成31年度から生育状態に応じて収穫

開催期日	会議名	協議内容等
平成27年12月7日	全員協議会	<p>③製品販売単価 健康食品の原料単価、1kg当たり1万円から、製品販売単価1kg当たり6万円に変更</p> <p>④収穫時重量 4年生で1株の平均乾燥重量60gが妥当</p> <p>⑤収穫予定重量 ②の収穫予定数量と④の収穫時重量の積</p> <p>⑥売上額 平成28年度は乾燥重量420kgを会津日石販売(株)から購入し、甘草茶を1kg当たり6万円で販売する。平成29年度以降は自社圃場から収穫し同単価で販売</p> <p>⑦製造原価 平成28年度から製造原価に製品製造費用が加算</p> <p>⑧売上総利益 売上高から製造原価を差し引いたもの。平成29年度からは原料購入費がないため増加</p> <p>⑨未払金 平成26年度定植分に係る未払金2244万1000円の支払開始年を収穫開始年に合わせて1年先延ばしし、2年分割を3年分割に変更</p>
平成27年12月18日	平成27年12月会議	産業・建設常任委員会 所管事務調査報告
平成28年6月6日	全員協議会	<p>【(株)日高アグリ経営状況に関する報告】</p> <p>平成28年6月会議に提出する平成27年度経営状況報告の説明</p> <p>【(株)日高アグリ事業計画及び収支計画】</p> <p>平成28年度から利息に加えて元金の償還が始まり、年度末の内部留保額が382万6000円となる収支計画の説明</p>
平成28年6月7日	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 現地調査 甘草栽培圃場
平成28年6月17日	平成28年6月会議	産業・建設常任委員会 所管事務調査報告
平成28年6月22日	日高町議会議員研修会	【甘草栽培事業】 講師 大阪薬科大学准教授 芝野 真喜雄氏
平成28年9月7日	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 現地調査 甘草栽培圃場
平成28年9月20日	平成28年9月第2回会議	産業・建設常任委員会 所管事務調査報告
平成28年11月24日	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 現地調査 甘草栽培圃場
平成28年12月5日	全員協議会	<p>【(株)日高アグリ事業収支計画の変更】</p> <p><(株)日高アグリ収支計画の変更>※主な項目を記載</p> <p>①平成25年定植収穫予定株数を4万5000株から3万9000株に変更</p> <p>②平成26年定植収穫予定株数を4万5000株から1万5000株に変更</p> <p>③収穫株数、売上、製造経費等の変更</p> <p>④支払いを繰延べしていた2244万1000円を金融機関から借入れし、返済</p> <p>⑤借入金残高1億2600万円を借り換えて、10年償還(元金据え置き3年、平成35年完済)から17年償還(元金据え置き1年、平成45年完済)に変更を提案</p>

開催期日	会議名	協議内容等
平成28年12月5日	全員協議会	⑥⑤の借り換えに伴い、債務負担行為の限度額を1億2600万円(期間平成28～45年度)とする補正予算の提出 ⇒ その後、議会への提案を見送る。
平成28年12月9日	全員協議会	【株日高アグリの変更】 ＜事業資金借り換え等に関する再協議＞※主な項目を記載 ①借り換えで利率が2.2%から3.0%に変更 ※元利の支払総額 借り換え前 1億4763万2382円 借り換え後 1億6098万9681円 ②一時的に資金が不足し、短期資金を借入れする見込み ③平成29年1月から3月まで、合計900万円売り上げる想定 ④ストロン苗は収穫率2/3で、2年半から3年で収穫できる見込み
平成28年12月16日	平成28年12月会議	産業・建設常任委員会 所管事務調査報告
平成29年2月13日	全員協議会	【株日高アグリに対する助成】 ふるさと納税を財源とし、寄付者の意向に従い、450万円を日高アグリに助成する旨の説明。平成28年3月会議で補正予算を提案予定 ⇒ その後、議会への提案を見送る。
	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 ＜株日高アグリ甘草栽培事業の状況＞※主な項目を記載 ①ティーバッグ30包入りに加えて、10包入りの商品も販売 ②商品パッケージのデザインの変更 ③ストロン苗は、前年に比べ10倍の生産予定 ④圃場用に町内牧場から馬糞(堆肥)の寄付
平成29年2月15日	平成29年2月会議	日高町が取り組む甘草栽培事業の中止等を求める決議(提出者:川渕健一議員、賛成者:本宮幹夫議員、高橋克徳議員)が賛成多数で可決
平成29年3月10日	平成29年3月会議	産業・建設常任委員会 所管事務調査報告
平成29年5月26日	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 現地調査 甘草栽培圃場
平成29年6月6日	全員協議会	【株日高アグリ経営状況】 ＜株日高アグリ経営状況に関する報告＞ 平成29年6月会議に提出する平成28年度経営状況報告の説明 ＜株日高アグリ事業計画(収支計画)＞※主な項目を記載 ▽平成28年度実績 ①甘草茶販売額 1108万1000円(乾燥重量171kg) ②売上額 541万7000円(平成28年度内の収入額) ③借入金 長期借入金2200万円、短期借入金750万円 ④長期借入金(1億5200万円)元利償還額 1008万8000円 ⑤年度末内部留保額 24万2000円

開催期日	会議名	協議内容等
平成29年6月6日	全員協議会	▽平成29年度計画 ①定植株数 2万5000株 ②収穫株数 1万5000株(平成25年定植分) ③甘草茶販売額 1863万円(乾燥重量345kg) ④短期借入金 300万円 ⑤町補助金 450万円 ⑥長期借入金 25年償還(元金据え置き5年、平成53年完済)に変更 ⑦通年雇用のための人件費 360万円
平成29年6月15日	平成29年6月会議	本宮幹夫議員の一般質問に対する答弁の中で、町長は(株)日高アグリを清算、または会社の構成を見直すことについて言及する。
平成29年6月16日		西尾英俊議員の一般質問に対して、町長は(株)日高アグリを地域に密着した形で会社組織の見直しについて検討するよう会社社長である副町長に指示したと答弁する。
平成29年6月19日		(株)日高アグリ経営状況に関する報告に対する決議(提出者:本宮幹夫議員、賛成者:互野利夫議員)が賛成多数で可決される。
		工藤守弘議員の一般会計補正予算の質疑に対して、町長は(株)日高アグリはやめて、もう1回作り直すと答弁する。
		産業・建設常任委員会 所管事務調査報告
平成29年7月19日	全員協議会	【(株)日高アグリ清算方法】 ①町は(株)日高アグリに甘草事業を清算するよう通知 ②(株)日高アグリは、解散し、清算するにあたり、以下の点について、弁護士、税理士等と協議し、必要に応じて処理を委任する。 ・出資(株式)の処理 ・町が損失補償を行っている借入金の処理 ・町が損失補償を行っていない借入金の処理
	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 〈(株)日高アグリに関する特別委員会の設置〉 特別委員会の設置について協議。特別委員会が設置されても、常任委員会として甘草の生育について調査していくこととする。
平成29年7月25日	平成29年7月会議	(株)日高アグリ清算等に関する調査特別委員会が設置される。
	産業・建設常任委員会	【所管事務調査】 現地調査 甘草栽培圃場
平成29年8月28日	全員協議会	【(株)日高アグリからの決算書等再提出依頼に対する回答結果】 (株)日高アグリは、同社顧問税理士の判断結果に基づき、決算書等を再提出する必要はないと回答
平成29年9月14日	平成29年9月会議	産業・建設常任委員会 所管事務調査報告
平成29年9月22日	全員協議会	【(株)日高アグリ清算等】 〈(株)日高アグリ清算に係る補助金〉

● 議会のうごき ●

- 【10月】
 2日 議会10月会議 全員協議会
 議会運営委員会
 5日 広報広聴常任委員会
 10日 広報広聴常任委員会
 13日 議会10月第2回会議 議会運営委員会
 広報広聴常任委員会
 23日 全員協議会 広報広聴常任委員会
 24日 日高管内議会正副議長・常設委員長研修会
 (新ひだか町)
 31日 日高地区軽種馬産業活性化講演会
- 【11月】
 1日 全員協議会 政策討論会
 総務常任委員会
 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
 6日 民生常任委員会 議会運営委員会
 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
 7日 議会11月会議 (1日目)
 8日 議会11月会議 (2日目)
 9日 議会11月会議 (3日目)
 17日 全員協議会 産業・建設常任委員会
 20日～22日
 町村議会議長会全国大会及び日高町村議会議長会行政視察(宮城県、東京都)
 20日 民生常任委員会 広報広聴常任委員会
- 【12月】
 4日 全員協議会 広報広聴常任委員会
 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
 8日 議会運営委員会 民生常任委員会
 産業・建設常任委員会
 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
 13日 議会12月会議(1日目) 総務常任委員会
 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
 14日 議会12月会議(2日目) 広報広聴常任委員会
 全員協議会
 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
 15日 議会12月会議(3日目) 政策討論会幹事会
 21日 民生常任委員会
 25日 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
 28日 議会12月第2回会議 全員協議会
 議会運営委員会
 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
- 【1月】
 18日 議会1月会議 議会運営委員会
 全員協議会
 24日 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
- 【2月】
 1日 広報広聴常任委員会
 (株)日高アグリの清算等に関する調査特別委員会
 6日 議員研修会 広報広聴常任委員会
 政策討論会幹事会

委員会活動

総務常任委員会

- 11月1日
 ・富川市街地活性化基本構想
 一付託案件－
 ・「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択に
 ついての要望書
 12月13日
 ・富川市街地活性化基本構想

民生常任委員会

- 11月6日
 ・門別地区の地域包括ケアシステム
 11月20日
 ・門別地区の地域包括ケアシステム
 12月8日
 ・門別地区の地域包括ケアシステム
 12月21日
 ・富川国民健康保険診療所の運営(現地調査)
 ・国民健康保険広域化

産業・建設常任委員会

- 11月17日
 ・平成28年8月の大雨災害及び台風被害の復旧状況
 (現地調査:国道274号日勝峠外)
 12月8日
 ・平成28年8月の大雨災害及び台風被害の復旧状況

広報広聴常任委員会

- 10月5日、10月10日、10月13日、10月23日、
 11月20日、12月4日、12月14日、2月1日、
 2月6日
 ・議会だより



▲災害復旧状況の現地調査(町道千呂露川沿線道路)

発行 北海道日高町議会
 発行日 平成30年2月23日
 編集 広報広聴常任委員会
 高橋 克徳 眞壁 悦夫
 工藤 守弘
 住所 〒059-2192
 北海道沙流郡日高町門別本町210-1
 TEL 01456-2-6500 FAX 01456-2-5611

日高町が、合併して12年が経過しました。今年3月は今までは違い、選挙区制を廃止し新しい制度での、合併後4度目の町議会議員の選挙があります。今後4年間、執行機関に対するチェック機能や提言等、役割は重大であります。

議会はこれまでも議会報告会・町民との懇談会等を行い、ご意見をお聞きして、議会改革を進めていますが、まだまだです。

議会だよりは、その内容をご理解していただくよう編集していますが、今後も研究していきます。

編集後記

日高町が、合併して12年が経過しました。

今年3月は今までは違い、選挙区制を廃止し新しい制度での、合併後4度目の町議会議員の選挙があります。今後4年間、執行機関に対するチェック機能や提言等、役割は重大であります。

議会はこれまでも議会報告会・町民との懇談会等を行い、ご意見をお聞きして、議会改革を進めていますが、まだまだです。

議会はこれまでも議会報告会・町民との懇談会等を行い、ご意見をお聞きして、議会改革を進めていますが、まだまだです。

議会はこれまでも議会報告会・町民との懇談会等を行い、ご意見をお聞きして、議会改革を進めていますが、まだまだです。